

2022年に AFC 構内演習林で採集されたカミキリムシ科昆虫

伊藤太陽・岡野哲郎

信州大学農学部

はじめに

2022年に信州大学農学部 AFC 構内演習林においてライトトラップにより採集したカミキリムシ科昆虫の種名および種別個体数のデータを公開する。

方 法

使用したトラップは、フライト・インターセプト・トラップ (FIT) である。光源はブラックライト (Oramics 製) を用い、正の走光性がある昆虫が衝突板に当たり、衝突板の下部に付属する水を入れたコップに落下することで捕獲する構造となっている。

FIT の設置は、森林植生の差異を考慮し、信州大学農学部 AFC 構内演習林において7箇所を選定した。図1において FIT 設置箇所1～7は、1, 2, 3が、松食い虫対策としてアカマツを択伐し落葉広葉樹高木が疎に残存した林分およびその近接、4, 5が天然生のアカマツが最上層に散在するヒノキ人工林、6がコナラ、ホオノキ、サクラ類などの落葉広葉樹が占める二次林、7がクスギ、コナラを交えるアカマツ林である。

設置期間は、2022年6月15日から2022年7月30日までで、台風などの影響によって設置ができなかった日を除き、1回/日の頻度で捕獲された昆虫を回

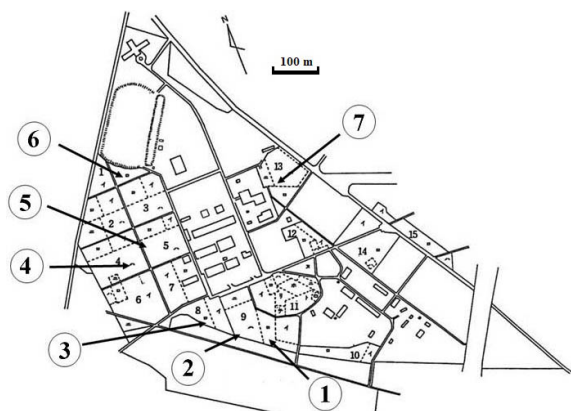


図1 信州大学農学部 AFC 構内演習林における FIT の設置箇所

収した。回収した全ての昆虫について科レベルで分類し、それぞれの個体数を計測した。このうち、カミキリムシ科に属する個体については種同定と種別個体数の計測を行った。なお、和名および学名は、藤田ら (2018)¹⁾ および日本列島の甲虫全種目録 (2022年) (<https://japanesebeetles.jimdofree.com/>) によった。

カミキリムシ科昆虫に関するデータ

表1は捕獲した全昆虫の科別個体数で、25科5311個体であった。コガネムシ科が最も多く1710個体 (32.2%) であり、コメツキムシ科の1438個体 (27.1%) に次いでカミキリムシ科が1163個体 (21.9%) であった。

表2はカミキリムシ科の種別個体数を FIT 設置箇所毎の個体数とともに示したものである。先述したように総個体数は1163個体で、計12種が確認された。この内、クロカミキリが最も多く、1141個体で全体の98%を占めていた。本種は針葉樹を食樹としており、灯火によく飛来する普通種である。なお、設置箇所1においてナラ類などの広葉樹を食樹とするチャイロホソヒラタカミキリ、針葉樹を食樹とするノコギリカミキリ、サビカミキリ、ヒゲナガモモブトカミキリなどが少数ながら捕獲され、設置箇所のうち最も種数が多かった。設置箇所6で捕獲されたヤツメカミキリはウメやサクラを食樹とする種で、隣接するグラウンドに並木として植栽されているソメイヨシノから飛来した可能性が考えられた。

謝 辞

本調査の遂行にあたり、四ノ宮宏紀氏、本学部造林学研究室の城田徹央助教を始め武岡明里氏、永田紘夢氏のご助力を得た。ここに深く感謝します。

参 考 文 献

- 1) 藤田宏・平山洋人・秋田勝己 (2018) 日本産カミキリムシ大図鑑 (I). むし社, 東京, 324 pp.
- 2) 小島圭三・林匡夫 (1974) 原色日本昆虫生態図鑑 (I) カミキリ編. 保育社, 大坂, 302 pp.

受付日 2022年12月23日

受理日 2023年2月9日

表1 FITにより捕獲した昆虫の科別個体数

上科	科	個体数	%	上科	科	個体数	%
オサムシ	1. オサムシ	434	8.2	セミ	14. セミ	5	0.1
	2. ゲンゴウロウ	13	0.2	ゾウムシ	15. キタイムシ	93	1.8
カツオブシムシ	3. カツオブシムシ	6	0.1		16. ゾウムシ	12	0.2
ガムシ	4. ガムシ	5	0.1	ハサミムシ	17. マルムネハサミムシ	1	0.0
カメムシ	5. カメムシ	19	0.4	ハネカクシ	18. シデムシ	128	2.4
	6. サシガメ	1	0.0		19. ハネカクシ	1	0.0
コガネムシ	7. クワガタムシ	8	0.2	ハムシ	20. カミキリムシ	1163	21.9
	8. コガネムシ	1710	32.2		21. ハムシ	103	1.9
	9. ムネアカセンチコガネ	4	0.1	ヒラタムシ	22. オオキノコムシ	76	1.4
ゴミムシダマシ	10. アカハネムシ	1	0.0		23. テントウムシ	1	0.0
	11. カミキリモドキ	36	0.7	ヘビトンボ	24. ヘビトンボ	26	0.5
	12. ゴミムシダマシ	12	0.2	ホタル	25. ジョウカイボン	15	0.3
コメツキムシ	13. コメツキムシ	1438	27.1		(計)	5311	100.0

表2 採集したカミキリムシ科の種別個体数

種名	種名	FIT 設置箇所ごとの個体数							計
		1	2	3	4	5	6	7	
ノコギリカミキリ	<i>P rionus insularis insularis</i> Motschulsky			1					1
ヨツスジハナカミキリ	<i>Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata</i> (Motschulsky)					1			1
ヒゲジロハナカミキリ	<i>Japanostrangalia dentatipennis</i> Pic							1	1
クロカミキリ	<i>Spondylis buprestoides</i> (Linnaeus)	343	157	225	103	132	94	87	1141
サビカミキリ	<i>Arhopalus coreanus</i> (Sharp)	1		2				1	4
チャイロホソヒラタカミキリ	<i>Phymatodes testaceus</i> (Linnaeus)			2					2
ニイジマトラカミキリ	<i>Xylotrechus emaciatus</i> Bates						1		1
ピロウドカミキリ	<i>Acalolepta fraudatrix fraudatrix</i> (Bates)			1					1
ヒゲナガモモブトカミキリ	<i>Acanthocinus orientalis</i> Ohbayashi			1					1
トゲバカミキリ	<i>Rondibilis saperdina</i> (Bates)				2		3		5
ヤツメカミキリ	<i>Eutetrappa ocelota</i> (Bates)						4		4
シラホシカミキリ	<i>Glenea relicta relicta</i> Pascoe			1					1
	(計)	344	157	233	105	133	102	89	1163

Longhorn Beetles (Cerambycidae) taken in AFC Campus Station of Shinshu University Forests in 2022

Taiyo ITO and Tetsuo OKANO
Faculty of Agriculture, Shinshu University